

本稿は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2010年11月9日に発表した2010年度第3四半期経営報告書の主要財務指標の日本語訳です。その正確な内容については、原文である英文リリースをご参照ください。本稿と英文リリースとの間で齟齬がある場合には英文リリースが優先します。なお、英文リリースは、<http://group.barclays.com/Investor-Relations/Financial-results-and-publications/Results-announcements> よりご覧いただけます。

# Barclays PLC

## Interim Management Statement

9 November 2010

バークレイズ・ピーエルシー  
2010年度第3四半期経営報告書  
2010年11月9日発表

**バークレイズ・ピーエルシー**  
**2010年度第3四半期経営報告書**

「バークレイズ・グループの2010年度1-9月期は、景気及びビジネス・ボリュームの停滞が見られる中、底堅い収益及び利益を確保いたしました。当グループでは、将来的な株主資本利益率向上を視野に入れ、支出を収入の範囲内に抑える方針を堅持しつつ、引き続き各種事業への投資を行いました。貸倒比率及び減損費用は、当第3四半期に一段と改善いたしました。

当グループの資本、レバレッジ及び流動性比率は引き続き堅調でした。今後、2019年までの間に新たな自己資本比率規制「バーゼルIII」が導入されますが、当グループはそれに伴う規制面の変化にも十分対応できる態勢にあります。

バークレイズ・グループは、民間セクター主導による経済活動支援のために何が求められているのか理解しています。2010年1-9月期における、当グループの英国内個人及び企業向け貸出は前年同期比30%強増の約350億ポンドとなっております。」

グループ最高責任者、ジョン・ヴァーリー

当グループの業績 (非監査)	2010年09月30日 に終了した9カ月間	2009年09月30日 に終了した9カ月間	増減率(%)
	(百万ポンド)	(百万ポンド)	
保険金控除後の収益合計	22,872	22,358	2
減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額	(4,298)	(6,214)	(31)
収益純額	18,574	16,144	15
営業費用	(14,476)	(12,233)	18
<b>税引前利益</b>	<b>4,274</b>	<b>4,107</b>	<b>4</b>
当グループ自身の信用度に関連する損失	96	1,298	(93)
買収及び売却に係る利益	(134)	(178)	(25)
債務買戻しに係る利益	-	(1,249)	nm
<b>調整後 税引前利益</b>	<b>4,236</b>	<b>3,978</b>	<b>6</b>
税引後利益	3,206	3,161	1
親会社の株主に帰属する利益	2,480	2,489	nm
基本的1株当たり利益	21.3p	23.0p	(7)
希薄化後1株当たり利益	19.9p	21.8p	(9)
1株当たり配当金	3.0p	1.0p	nm
<b>パフォーマンス比率</b>			
平均株主資本利益率	6.7%	8.7%	nm
平均有形株主資本利益率	8.1%	12.0%	nm
平均リスク調整後資産利益率	1.1%	1.0%	nm
収益に対する費用の比率	63%	55%	nm
収益純額に対する費用の比率	78%	76%	nm
収益に対する費用の比率 (当グループ自身の信用度を除く)	63%	52%	nm
収益純額に対する費用の比率 (当グループ自身の信用度を除く)	78%	70%	nm
<b>資本及び貸借対照表</b>	<b>(2010年9月30日現在)</b>	<b>(2010年6月30日現在)</b>	<b>増減率(%)</b>
コア Tier1 比率	10.0%	10.0%	nm
リスク調整後資産	£405bn	£395bn	3
調整後グロス・レバレッジ	21x	20x	nm
グループ余剰流動性	£162bn	£160bn	1
1株当たり純資産価額	418p	412p	nm
1株当たり正味有形固形資産価額	345p	338p	nm

### 業績の概要

- パークレイズ・グループの 1-9 月期の税引前利益は前年同期比 4%増の 42 億 7,400 万ポンド(2009 年:41 億 700 万ポンド)
- 第 3 四半期の当グループ自身の信用度を除いた税引前利益は第 2 四半期の 11 億 7,400 万ポンドから 12 億 7,400 万ポンドに増加
- 1-9 月期の保険金控除後の収益合計は前年同期比 2%増の 228 億 7,200 万ポンド(2009 年:223 億 5,800 万ポンド)
- 減損費用は、前年同期比 31%減の 42 億 9,800 万ポンド(2009 年:62 億 1,400 万ポンド)となり、1-9 月期の年率貸倒比率は 110 ベーシス・ポイント(2009 年:151 ベーシス・ポイント)
- 収益純額は、15%増の 185 億 7,400 万ポンド(2009 年:161 億 4,400 万ポンド)
- 継続的な事業投資を反映して、営業費用は 18%増の 144 億 7,600 万ポンド(2009 年:122 億 3,300 万ポンド)
- グローバル・リテール・バンキング(GRB)、パークレイズ・コーポレート、パークレイズ・ウェルス及びアブサの純預貸利ざや(年率)は上半期に比べ若干上昇
- コア Tier1 自己資本比率は 10.0%
- 1-9 月期中に資本市場を通じて 280 億ポンドの債券を発行、高い流動性を維持
- スタンダード・ライフ・バンクを含む英国内個人及び企業向け新規貸出は、総額 350 億ポンドに増加(2009 年:261 億ポンド)
- 第 3 四半期配当金支払い: 一株当たり配当金は 1.0 ペンス、今年度の累計は 3.0 ペンスに

### グループの業績と収益率

2010 年 1-9 月期のグループ税引前利益は、前年同期比 4%増の 42 億 7,400 万ポンドとなりました(2009 年:41 億 700 万ポンド)。当グループ自身の信用度に関連する変動、買収及び売却に係る利益、債務買戻しに係る利益を除いた税引前利益は 6%増の 42 億 3,600 万ポンドでした(2009 年:39 億 7,800 万ポンド)。マクロ経済環境の停滞をある程度反映して、収益は 2%増の 228 億 7,200 万ポンドにとどまった(2009 年:223 億 5,800 万ポンド)。営業費用が 18%増の 144 億 7,600 万ポンド(2009 年:122 億 3,300 万ポンド)となる一方、減損費用は 31%改善し、42 億 9,800 万ポンドとなりました(2009 年:62 億 1,400 万ポンド)。営業費用の増加は、主として当グループの事業に対する継続的に増加した投資 9 億 1,700 万ポンド、増加した規制関連費用及びインフラ費用 5 億 9,900 万ポンド、並びに増加した年金費用の増加 2 億 2,400 万ポンドを反映したものです。

2010 年度第 3 四半期の税引前利益は 3 億 2,700 万ポンドとなりましたが、これには当グループ自身の信用度に関連する損失 9 億 4,700 万ポンドが含まれております。当グループ自身の信用度に関連する変動を除くと、第 3 四半期の税引前利益は第 2 四半期の 11 億 7,400 万ポンドから第 3 四半期の 12 億 7,400 万ポンドに増加することとなり、パークレイズ・キャピタルの減益は、それをはるかに補う形で、他の事業部門全体における増益で相殺されました。2009 年 1 月 1 日以降の各四半期の業績については別紙 1 をご覧ください。

### 資本、レバレッジ、流動性

2010 年 9 月 30 日現在の当グループのコア Tier1 自己資本比率は 10.0%でした(2010 年 6 月 30 日現在:10.0%)。2010 年 10 月 8 日にワラントが行使され、その結果、パークレイズ・ピーエルシーの普通株式 1 億 3,100 万株(対価は 2 億 6,000 万ポンド)を発行することとなりました。これは 2010 年 9 月 30 日現在のコア Tier1 自己資本比率を 6 ベーシス・ポイント押し上げるものです。

リスク調整後資産は 2010 年 6 月 30 日現在の 3,950 億ポンドから 3%増の 4,050 億ポンドとなりました。1 株当たり正味有形資産価額は 345 ペンスに増加しました(2010 年 6 月 30 日現在:338 ペンス)。

2010 年 9 月 30 日現在の調整後グロス・レバレッジは 21 倍となり、2010 年 9 月 30 日までの 9 ヶ月間では、取引活動の通常の変動を反映して、20 倍から 24 倍の範囲での動きとなりました。

9 月 30 日現在のグループ流動性残高は 1,620 億ポンドに増加し(2010 年 6 月 30 日現在:1,600 億ポンド)、うち 1,490 億ポンドは金融サービス機構(FSA)適格資産残高でした(2010 年 6 月 30 日現在:1,460 億ポンド)。当 1-9 月期における当該流動性残高を維持するための費用は 7 億ポンド近くとなりました。パーゼル III の流動性指標に関する最新案を 9 月 30 日現在のグループ貸借対照表に当てはめると、短期流動性カバレッジ比率(LCR)は 84%となります。

2010 年度期首の当グループの公募債発行残高は 40 億ポンドで、期中に 110 億ポンドのストラクチャード・ノートが満期を迎えます。当グループは当 1-9 月期中に、約 280 億ポンドに上るシニア無担保債、仕組み債及びカバード債を発行しております。また、当 1-9 月期中には中央銀行貸出制度に係る債務の前倒し返済を進めました。

事業部門別税引前利益

	2010 年 9 月	2009 年 9 月	増減率(%)
	30 日に終了した 9 ヵ月間	30 日に終了した 9 ヵ月間	
	百万ポンド	百万ポンド	
英国リテール・バンキング	734	610	20
パークレイカード	561	570	(2)
西ヨーロッパ・リテール・バンキング	(34)	237	nm
パークレイズ・アフリカ	106	93	14
グローバル・リテール・バンキング	1,367	1,510	(9)
パークレイズ・キャピタル	3,218	1,416	127
パークレイズ・コーポレート	(414)	300	nm
英国及びアイルランド	575	624	(8)
欧州大陸	(712)	(26)	nm
新市場	(277)	(298)	7
パークレイズ・ウェルス	122	112	9
インベストメント・マネジメント	55	2	nm
アブサ	448	372	20
本社機能及びその他事業	(522)	395	nm
<b>税引前利益</b>	<b>4,274</b>	<b>4,107</b>	<b>4</b>

事業の概況

グローバル・リテール・バンキングの 2010 年 1-9 月期の税引前利益は 9%減少し 13 億 6,700 万ポンドとなりました(2009 年:15 億 1,000 万ポンド)。事業の拡大を反映したものの、純預貸利ざやの縮小と手数料収入の減少により相殺され、収益は 78 億 2,400 万ポンドとほぼ横ばいでした(2009 年:77 億 5,500 万ポンド)。減損費用が 9%減少し、リスク調整後マージンが改善しました。年金控除が 1 億 4,600 万ポンド(2009 年:2 億 1,300 万ポンド)に減少したことを一因とする年金費用の増加に加え、買収の影響と継続的に高額な規制関連コストの影響もあり、営業費用は 10%増加しました。グローバル・リテール・バンキング部門各事業の概況は以下の通りです。

- **英国リテール・バンキング**の税引前利益は 20%増加し 7 億 3,400 万ポンドとなりました(2009 年:6 億 1,000 万ポンド)。これにはスタンダード・ライフ・バンク(Standard Life Bank)買収による 1 億ポンドの利益が含まれています。バランスシートの大幅拡大を映し、収益は堅調な伸びを示しました。スタンダード・ライフ・バンクを含め、モーゲージ純貸出額は 48 億ポンドで、総貸出額は 206 億ポンドでした。経済状況の改善を映し、減損費用は前年同期に比べ減少しました。営業費用は年金費用の増加を主因に増加しました。
- **パークレイカード**の税引前利益はほぼ横ばいの 5 億 6,100 万ポンドとなりました(2009 年:5 億 7,000 万ポンド)。米国におけるクレジット・カード規制法の影響により、収益は小幅に減少しました。減損費用は特に米国の 90 日延滞率の低下を受け減少しました。営業費用は年金費用の増加を主因に増加しました。税引前利益は 2010 年に入り四半期ベースで改善を示し、第 3 四半期は第 2 四半期に比べて 23%増となりました。
- 非常に厳しい経済状況が続く中、**西ヨーロッパ・リテール・バンキング**は 3,400 万ポンドの税引前損失を計上しました(2009 年:2 億 3,700 万ポンドの利益)。損失に転じた主因は 2010 年に行った買収及び処分に係る利益の減少でした。クレジット・カード事業の拡大による増収で一部相殺されたものの、継続的な負債マージンの圧縮と国債金利収入の減少により、収益は 8%減少しました。減損費用は 9%減少しました。ポルトガルとイタリアで支店網の大幅増強を中心とする営業基盤整備への投資を進めたことと両市場におけるクレジット・カード事業拡大に係るコストが影響し、営業費用は増加しました。
- **パークレイズ・アフリカ**の税引前利益は 14%増加し 1 億 600 万ポンドとなりました(2009 年:9,300 万ポンド)。2009 年にはパークレイズ・バンク・オブ・ボツワナ・リミテッド(Barclays Bank of Botswana Limited)の株式売却による一度限りの利益 2,400 万ポンドを計上したことを考慮しますと、基礎的な収益性はこの伸び率が示すよりもさらに好調だったと言えます。収益は純預貸利ざやとトレーディング収益の改善により増加しました。経済状況の改善に債権回収の好転があいまって、減損費用は大幅に減少しました。営業費用はインフラ投資の継続と人件費の高まりにより増加しました。

パークレイズ・キャピタルの税引前利益は 32 億 1,800 万ポンドに大幅に増加しました(2009 年:14 億 1,600 万ポンド)。当グループ自身の信用度を除いた税引前利益は 22%増の 33 億 1,400 万ポンド(2009 年:27 億 1,400 万ポンド)、当グループ自身の信用度を除いた収益純額は 21%増の 93 億 9,200 万ポンド(2009 年:77 億 4,900 万ポンド)、収益合計は 11%増の 96 億 1,700 万ポンドとなりました(2009 年:86 億 7,100 万ポンド)。これは信用市場に対するエクスポージャーに関して損益を通じて計上された損失が 2 億 4,000 万ポンド(2009 年:42 億 5,100 万ポンド)に大幅に減少したこと、及び当グループ自身の信用度に関連する 9,600 万ポンドの損失(2009 年:12 億 9,800 万ポンドの損失)を反映しています。こうした項目を除いたトップライン収益は 99 億 5,300 万ポンドと、堅調だった前年同期の業績から 30%減少しました。債券、為替、及びコモディティのトップライン収益は、為替の業績改善が金利とコモディティからの収益寄与度の低下を一部相殺し、37%減の 68 億 9,600 万ポンドとなりました。株式及びプライム・サービス事業のトップライン収益は、キャッシュ・エクイティの伸びが欧州株式デリバティブの市場取引の低下で打ち消され、23%減の 14 億 1,500 万ポンドとなりました。インベストメント・バンキング業務の営業収益は 2%減の 15 億 1,800 万ポンドでした。

2010 年度第 3 四半期のトップライン収益は、2010 年度第 2 四半期から 14%減の 28 億 2,700 万ポンドとなりました。市場環境の厳しさは第 3 四半期も続き、季節要因による市場活動の水準低下も収益に影響を及ぼしました。需要低下を背景に債券、為替、及びコモディティ業務が第 2 四半期から 14%減、株式及びプライム・サービス業務が 36%減となり、インベストメント・バンキング業務の 9%増を打ち消しました。

2010 年の減損費用は 3 億 2,100 万ポンドと大幅に減少しました(2009 年:22 億 2,000 万ポンド)。営業費用は 21%増となり、当グループ自身の信用度を除く収益純額の増加とほぼ一致しました。これは当グループのセールス、オリジネーション、トレーディング、リサーチ業務構築のための継続投資と、過年度の報酬繰延に関連する費用の増加が主因です。収益純額(当グループ自身の信用度を除く)に対する費用の比率は 65%でした。収益純額(当グループ自身の信用度を除く)に対する人件費の比率は 43%と、2010 年 6 月 30 日までの 6 ヶ月間の 42%から低下しました。

パークレイズ・コーポレートの税引前損益は、欧州大陸と新市場での損失が英国及びアイルランド事業の利益を打ち消し、4 億 1,400 万ポンドの損失となりました(2009 年:3 億ポンドの利益)。

- **英国及びアイルランド**事業部門の税引前利益は 8%減の 5 億 7,500 万ポンドとなりました(2009 年:6 億 2,400 万ポンド)。2009 年の債務買戻しに係る利益 8,500 万ポンドの利益を除く税引前利益は 7%増加しました(2009 年:3,600 万ポンド)。営業費用は年金費用の増加を主因に増加しました。減損費用は 31%減少しました。
- **欧州大陸**事業部門の税引前損失は主にスペインの減損費用増加を反映して 7 億 1,200 万ポンドに増加しました(2009 年:2,600 万ポンド)。スペインの減損費用は 2010 年度上半期の 5 億 5,300 万ポンドに続き、第 3 四半期は 1 億 9,800 万ポンドとなりました。収益の減少は主としてスペインの利息収入純額の減少を反映して減少しました。
- **新市場**事業部門は 9,400 万ポンドの事業再構築費用を含めた税引前損失が 2 億 7,700 万ポンドに減少しました(2009 年:2 億 9,800 万ポンド)。事業再構築費用を除くと、リスク選好度の低下を反映した収益減を減損費用の減少分が十分に相殺し、税引前損失は減少しました。

パークレイズ・ウェルスの税引前利益は 9%増の 1 億 2,200 万ポンドとなりました(2009 年:1 億 1,200 万ポンド)。富裕層事業の堅調な業績により収益が大幅に増加しました。減損費用は 2009 年に比べ若干減少しました。当グループはパークレイズ・ウェルスの戦略的投資計画に引き続き投資し、2010 年度下半期の同計画への投資は上半期の 3,300 万ポンドから 8,000 万ポンド程度に増加すると予想しています。顧客預り資産は年初来 5%増加して 1,580 億ポンドとなりました。

インベストメント・マネジメントの税引前利益は、主に 19.9%の株式を保有するブラックロック社からの受取配当金を反映して 5,500 万ポンドとなりました(2009 年:200 万ポンド)。2010 年 9 月 30 日現在のこの保有株式 3,756 万 7,000 株の価値は、40 億 6,100 万ポンド(2009 年 6 月 30 日現在:36 億 400 万ポンド)で計上されています。2010 年 9 月 30 日現在のこの投資に関連する売却可能投資に関する剰余金への影響は 14 億ポンドで、これはすでに当社のコア Tier1 比率に反映されています。

アブサの税引前利益は 20%増の 4 億 4,800 万ポンドとなりました(2009 年:3 億 7,200 万ポンド)。これは、年金積立超過を当グループが認識したことに関連したクレジット、及びポンドに対するランドの上昇を反映しています。ランド建てでは、収益はほぼ横ばい、営業費用は増加、減損費用は減少しました。

本社機能及びその他の事業の税引前損益は 2009 年の 1-9 月に発生した債務買戻しに係る利益 11 億 6,400 万ポンドが再現されなかったことを主因に、5 億 2,200 万ポンドの損失となりました(2009 年:3 億 9,500 万ポンドの利益)。

### 減損費用

減損費用及びその他信用関連引当金繰入額は、42億9,800万ポンドへと大きく改善しました(2009年:62億1,400万ポンド)。貸付金に係る減損費用は25%減少して41億8,700万ポンドとなりました(2009年:55億6,300万ポンド)。2010年度の9ヵ月間の年率換算貸倒率は、110ベース・ポイントへと低下しました(2009年:151ベース・ポイント)。

貸付金に係る減損費用の減少は主として以下における費用減少を反映したものです。

- リテール・ポートフォリオ - 減損費用総額は25億2,300万ポンド(2009年:29億4,200万ポンド)となり、担保付及び無担保ポートフォリオの大半において貸付状況が改善したことを反映しています。
- ホールセール・ポートフォリオ - 減損費用総額は16億6,400万ポンド(2009年:26億2,100万ポンド)となり、大口の減損件数は減少したものの、一部はスペインに関連する減損費用の増加により相殺されました。

売却可能資産及びリバース・レポ契約に係る減損費用は1億1,100万ポンド(2009年:6億5,100万ポンド)となりました。

パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーに係る減損費用総額は、2009年同期の14億2,400万ポンドから3億2,200万ポンドへ減少しました。この大部分は上記のホールセール・ポートフォリオに係るもので、売却可能資産及びリバース・レポ契約に係る減損費用は発生しませんでした(2009年:4億6,400万ポンド)。

減損及び貸付金残高の詳細情報につきましては別紙2を、パークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーの詳細情報につきましては別紙3をご覧ください

### 現行取引状況

グループの10月の収益は、年初来9ヵ月間と概ね同様のトレンドで推移しました。パークレイズ・キャピタルの10月のトップライン収益は、第3四半期のトレンドに沿うものとなりました。

### 配当

四半期ベースで配当を実施するのが当グループの方針です。2010年度第3回期中配当金については1株当たり1ペンスを2010年12月10日付でお支払いいたします。この結果、3四半期累計の現金配当は1株当たり3ペンスとなりました。

## 注記

- 別途記載がない限り、開示されている全ての数値は継続事業に関連したものです。
- 別途記載がない限り、損益計算書の分析では、2010 年 9 月 30 日までの 9 ヶ月間を、2009 年の同 9 ヶ月間と比較しています。貸借対照表は、別途記載がない限り、2010 年 6 月 30 日現在における対応する残高と比較しています。
- 本期中経営報告書が依拠している財務情報並びに本報告書の別紙に記載されている信用市場に対するエクスポージャー及びその他のデータについては非監査の数値情報であり、2009 年の年次報告書において記載されている、パークレイズが以前発表した会計方針に基づいて作成されています。また、用語集も 2009 年の年次報告書に記載されています。
- 米国及びカナダ居住で配当受取資格を有する ADR 保有者に関しては、普通株式 1 株当たり 1 ペンスの期中配当金は、ADS1 株(普通株式 4 株に相当します)当たり 4 ペンスとなります。2010 年 11 月 19 日(金)現在で登録されている ADR 保有者に対して、ADR 預託会社が 2010 年 12 月 10 日(金)に期中配当金を郵送します。
- 株主は、パークレイズ配当金再投資制度(DRIP)への参加により、配当金をパークレイズ・ピーエルシーの株式に再投資することができます。DRIP は、パークレイズ・シェアストアのメンバーを含むすべての株主が利用することができます。ただし、これは株主の DRIP への参加に際してパークレイズ又はパークレイズ DRIP のプラン・アドミニストレーター(The Plan Administrator to Barclays DRIP)が、現地政府又は現地監督当局の手続きあるいはそれに類する手続きに従うための措置を講じる必要がある国に当該株主が居住していないか、あるいは係る国の司法管轄下でないことが条件となります。DRIP の詳細及び参加申込書類の入手をご希望の株主は、パークレイズ DRIP のプラン・アドミニストレーター(Aspect House, Spencer Road, Lancing, West Sussex, BN99 6DA, United Kingdom)まで書面にてご連絡いただくか、電話で 0871 384 2055\*(英国内から)又は+44 (0)121 415 7004(海外から)までご連絡下さい。参加申込を 2010 年 12 月 10 日(金)の配当金支払に間に合わせるためには、記入済の申込書類を 2010 年 11 月 19 日(金)17:00 までにパークレイズ DRIP のプラン・アドミニストレーターに返送(必着)する必要があります。DRIP にすでにご参加の株主に関しては手続きの必要はありません。ただし、指示の変更をご希望の場合は、上記宛先のパークレイズ DRIP のプラン・アドミニストレーターまで書面にてご連絡を頂く必要があります。

## 財務カレンダー

イベント	日程
配当権利落日	2010 年 11 月 17 日(水)
配当権利確定日	2010 年 11 月 19 日(金)
配当支払日	2010 年 12 月 10 日(金)
2010 年度年次経営報告	2011 年 2 月 15 日(火)
2011 年度第 1 四半期経営報告	2011 年 4 月 27 日(水)

## お問い合わせ先

インベスター・リレーションズ	メディアからのお問い合わせ
Stephen Jones / James Johnson +44 (0) 20 7116 5752 / 7233	Howell James / Giles Croot +44 (0) 20 7116 6060 / 6132

\* この電話番号は BT の固定電話をご使用の場合には 1 分当たり 8 ペンスの課金となります。他の電話会社の場合の通話料金はそれとは異なる場合があります。

(原文とページを統一する為、空白にしております。)



## 2010年度第3四半期経営報告書 別紙1 – 四半期業績の概要

当グループの業績	2010年	2010年	2010年	2009年	2009年	2009年	2009年
	第3四半期	第2四半期	第1四半期	第4四半期	第3四半期	第2四半期	第1四半期
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
トップライン収益	7,413	7,678	8,117	7,453	8,189	10,419	9,299
信用市場に関連する(損失)/利益	(175)	(115)	50	(166)	(744)	(1,648)	(1,859)
保険金控除後の収益合計 (当グループ自身の信用度を除く)	7,238	7,563	8,167	7,287	7,445	8,771	7,440
減損費用 – 信用市場評価損	(11)	(120)	(191)	(245)	(254)	(416)	(754)
減損費用 – その他	(1,207)	(1,452)	(1,317)	(1,612)	(1,404)	(1,831)	(1,555)
減損費用及びその他の信用関連引当金 繰入額	(1,218)	(1,572)	(1,508)	(1,857)	(1,658)	(2,247)	(2,309)
収益純額(当グループ自身の信用度を除く)	6,020	5,991	6,659	5,430	5,787	6,524	5,131
営業費用	(4,756)	(4,868)	(4,852)	(4,482)	(4,182)	(3,888)	(4,163)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する 持分	9	18	15	16	5	24	(11)
買収及び売却に係る利益	1	33	100	36	157	18	3
<b>税引前利益(当グループ自身の信用度を除く)</b>	<b>1,274</b>	<b>1,174</b>	<b>1,922</b>	<b>1,000</b>	<b>1,767</b>	<b>2,678</b>	<b>960</b>
当グループ自身の信用度に関連する(損失) /利益	(947)	953	(102)	(522)	(405)	(1,172)	279
税引前利益	327	2,127	1,820	478	1,362	1,506	1,239
収益に対する費用の比率 (当グループ自身の信用度を除く)	66%	64%	59%	62%	56%	44%	56%
収益純額に対する費用の比率 (当グループ自身の信用度を除く)	79%	81%	73%	83%	72%	60%	81%
基本的1株当たり利益	0.4p	11.6p	9.3p	1.1p	6.6p	9.5p	6.9p
<b>パークレイズ・キャピタルの業績</b>	<b>2010年</b>	<b>2010年</b>	<b>2010年</b>	<b>2009年</b>	<b>2009年</b>	<b>2009年</b>	<b>2009年</b>
	<b>第3四半期</b>	<b>第2四半期</b>	<b>第1四半期</b>	<b>第4四半期</b>	<b>第3四半期</b>	<b>第2四半期</b>	<b>第1四半期</b>
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
債券、為替、及びコモディティ	1,948	2,253	2,695	2,711	2,714	3,883	4,344
株式及びプライム・サービス	359	563	493	334	545	748	538
インベストメント・バンキング	501	461	556	643	459	751	335
プリンシパル・インベストメント	19	4	101	(46)	13	(107)	(3)
<b>トップライン収益</b>	<b>2,827</b>	<b>3,281</b>	<b>3,845</b>	<b>3,642</b>	<b>3,731</b>	<b>5,275</b>	<b>5,214</b>
信用市場に関連する(損失)/利益	(175)	(115)	50	(166)	(744)	(1,648)	(1,859)
収益合計(当グループ自身の信用度を除く)	2,652	3,166	3,895	3,476	2,987	3,627	3,355
減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額	(12)	(41)	(268)	(371)	(346)	(806)	(1,068)
収益純額(当グループ自身の信用度を除く)	2,640	3,125	3,627	3,105	2,641	2,821	2,287
営業費用	(1,881)	(2,154)	(2,059)	(1,552)	(1,864)	(1,529)	(1,647)
関連会社及び合併会社の税引後損益に対する 持分	6	7	3	17	(3)	20	(12)
<b>税引前利益(当グループ自身の信用度を除く)</b>	<b>765</b>	<b>978</b>	<b>1,571</b>	<b>1,570</b>	<b>774</b>	<b>1,312</b>	<b>628</b>
当グループ自身の信用度に関連する(損失) /利益	(947)	953	(102)	(522)	(405)	(1,172)	279
税引前利益	(182)	1,931	1,469	1,048	369	140	907
収益に対する費用の比率 (当グループ自身の信用度を除く)	71%	68%	53%	45%	62%	42%	49%
収益純額に対する費用の比率 (当グループ自身の信用度を除く)	71%	69%	57%	50%	71%	54%	72%

## 減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額

	2010年9月 30日に終了 した9ヶ月間	2009年9月 30日に終了 した9ヶ月間
	百万ポンド	百万ポンド
貸付金に係る減損費用	4,117	5,537
未利用のファシリティ及び保証に係る費用	70	26
<b>貸付金に係る減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額</b>	<b>4,187</b>	<b>5,563</b>
売却可能金融資産及びリバース・レポ取引に係る減損費用	111	651
<b>減損費用及びその他の信用関連引当金繰入額</b>	<b>4,298</b>	<b>6,214</b>
年率貸倒率(ベース・ポイント)	110	151

## 貸付金(償却原価により評価)

2010年9月30日現在	貸付金総額 百万ポンド	減損引当金 百万ポンド	減損控除後の 貸付金 百万ポンド	減損費用 百万ポンド	貸倒率 bp
ホールセール-顧客	231,063	4,979	226,084	1,676	97
ホールセール-銀行	45,068	51	45,017	(12)	(4)
<b>ホールセール合計</b>	<b>276,131</b>	<b>5,030</b>	<b>271,101</b>	<b>1,664</b>	<b>80</b>
リテール-顧客	231,001	6,820	224,181	2,523	146
<b>リテール合計</b>	<b>231,001</b>	<b>6,820</b>	<b>224,181</b>	<b>2,523</b>	<b>146</b>
<b>合計</b>	<b>507,132</b>	<b>11,850</b>	<b>495,282</b>	<b>4,187</b>	<b>110</b>
2010年6月30日現在					
ホールセール-顧客	234,738	5,007	229,731	1,214	103
ホールセール-銀行	45,984	60	45,924	(6)	(3)
<b>ホールセール合計</b>	<b>280,722</b>	<b>5,067</b>	<b>275,655</b>	<b>1,208</b>	<b>86</b>
リテール-顧客	225,215	6,680	218,535	1,773	157
<b>リテール合計</b>	<b>225,215</b>	<b>6,680</b>	<b>218,535</b>	<b>1,773</b>	<b>157</b>
<b>合計</b>	<b>505,937</b>	<b>11,747</b>	<b>494,190</b>	<b>2,981</b>	<b>118</b>

減損引当金を含む貸付金の総額は、5,071億3,200万ポンドとなり、前四半期比で横ばいでした(2010年6月30日現在:5,059億3,700万ポンド)。これは、リテール・ポートフォリオの大部分で貸付金が小幅増加し、ホールセール・ポートフォリオが減少したことを反映しています。ホールセール・ポートフォリオの減少は、デリバティブ取引に対して保有していた決済残高と現金担保の増加で一部補われたものの、借入額減少と他国通貨に対するポンドの正味上昇を受けて、パークレイズ・キャピタルの貸付金が減少したことが主な原因です。

2010年1-9月期の年率貸倒率は110ベース・ポイントに低下しましたが(2010年6月30日現在:118ベース・ポイント、2009年12月31日現在:156ベース・ポイント)、これは主に減損費用の減少と貸付金残高が2009年12月31日以降、4,721億5,500万ポンドから5,071億3,200万ポンドに増加したことを反映しています。

減損引当金は1%増の118億5,000万ポンドとなりました(2010年6月30日現在:117億4,700万ポンド)。これは延滞資産の返済が引き続き長期化したことと債務回収が遅れたことにより、リテール事業の大半で減損引当金が増加したことを主に反映しています。ホールセール事業の減損引当金は減少しましたが、これは主にパークレイズ・キャピタル及び英国とアイルランドのパークレイズ・コーポレートで減損引当金が減少(欧州大陸においてスペインの企業関連で計上した引当金の増加で一部相殺)したことによるものです。

## 2010年第3四半期経営報告書 別紙3 – バークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャー

バークレイズ・キャピタルの信用市場に対するエクスポージャーは主に商業用不動産、レバレッジド・ファイナンス、及びプロティアム・ファイナンス LP への貸付金に関連しています。これらエクスポージャーは、損益を通じての公正価値の変動により影響を受けるポジション、及び貸付金及び売却可能資産として分類されるポジションを含みます。

下表に示した残高と評価損額は 2007 年半ばの市場混乱期間に保有していた信用市場に対するエクスポージャーを表しています。市場の混乱後に取得した同様の資産は、流通市場で活発に取引されているため、このディスクロージャーから除外しています。

2010年9月30日までの資産クラス別の残高及び評価損額は、下表の通りです。

米国住宅モーゲージ	2010年9月30日に終了した9ヶ月間								
	2010年 9月30日 現在	2010年 6月30日 現在	2009年 12月31日 現在	2010年 9月30日 現在	2010年 6月30日 現在	2009年 12月31日 現在	公正価値 (損失) /利益	減損(費用) /戻入れ	(損失) /利益総額
	百万ドル <sup>1</sup>	百万ドル <sup>1</sup>	百万ドル <sup>1</sup>	百万ポンド <sup>1</sup>	百万ポンド <sup>1</sup>	百万ポンド <sup>1</sup>	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
ABS CDO スーパー シニア	2,813	2,840	3,127	1,786	1,900	1,931	-	(92)	(92)
その他の米国サブ プライムと Alt-A <sup>2</sup>	1,210	1,344	1,447	768	899	894	(37)	(50)	(87)
モノライン保険会社 保証付米国 RMBS	-	-	9	-	-	6	(1)	-	(1)
<b>商業用モーゲージ</b>									
商業用不動産ローン 及び不動産	11,088	11,026	12,525	7,041	7,377	7,734	(247)	-	(247)
商業用モーゲージ 担保証券 <sup>2</sup>	248	293	352	157	196	218	(3)	-	(3)
モノライン保険会社 保証付 CMBS への エクスポージャー	29	29	49	18	19	30	24	-	24
<b>その他の信用市場</b>									
レバレッジド・ ファイナンス <sup>3</sup>	7,830	7,489	8,919	4,972	5,011	5,507	-	(207)	(207)
SIVs, SIV-Lites 及び クレジット・デリバティブ・ プロダクト・カンパニー (CDPC)	636	824	896	404	551	553	36	27	63
モノライン保険会社 保証付 CLO 及び その他の資産	2,981	3,074	3,443	1,893	2,057	2,126	(12)	-	(12)
<b>プロティアムへの貸付金</b>	12,081	12,513	12,727	7,671	8,372	7,859	-	-	-
<b>信用市場に対する市場 エクスポージャー総額</b>	38,916	39,432	43,494	24,710	26,382	26,858			
<b>評価損総額</b>							(240)	(322)	(562)

2010年1-9月期の信用市場に対するエクスポージャーは、21億4,800万ポンド減少して247億1,000万ポンドとなりました(2009年12月31日現在:268億5,800万ポンド)。これは、純売却額、返済及びその他の変動の20億5,000万ポンド並びに評価損総額の5億6,200万ポンドが、主に対ボンド米ドル高に関連する4億6,400万ポンドの為替変動で一部相殺されたことを反映しています。

評価損総額は損益を通じた公正価値に係る純損失2億4,000万ポンド(2009年:42億5,100万ポンドの損失)と減損費用の3億2,200万ポンド(2009年:14億2,400万ポンド)から成っています。評価損総額の内訳は、米国住宅モーゲージのポジションに対する1億8,000万ポンド(2009年:18億6,100万ポンド)、商業用モーゲージのポジションに対する2億2,600万ポンド(2009年:27億4,900万ポンド)及びその他の信用市場のポジションに対する1億5,600万ポンド(2009年:10億6,500万ポンド)となります。

プロティアムへの貸付金は、2009年12月31日から2010年9月30日にかけて、6億3,100万ドルの元本返済と3億600万ドルの利払いが同期間に発生した利息を十二分に打ち消し、現地通貨建てで減少しました。2010年10月には3億6,200万ドルの元本返済と1億100万ドルの利払いが行われ、プロティアムの貸付残高はさらに減少しています。プロティアムへの貸付金については、2010年9月30日に減損に対する評価が行われ、減損は識別されませんでした。

- 1 エクスポージャーの大部分はレバレッジド・ファイナンスを除き、米ドル建てで保有しているため、上表には米ドル建て及び英ポンド建ての両方で記載しています。
- 2 2009年12月31日の数値は、4億9,800万ポンドのその他の米国のサブプライム及びオルトA、並びに2億5,300万ポンドの商業用モーゲージ担保証券に関連して活発に取引されていたポジションを除外するように調整されています。
- 3 2億5,500万ポンドの未実行与信枠を含みます(2009年12月31日現在:2億5,700万ポンド)。

## 2010年第3四半期経営報告書 別紙4 一部ユーロ圏諸国に対するエクスポージャー

下表は、2010年9月30日現在の一部のユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャーを2010年6月30日現在と比較したものです。ギリシャに対する当グループのネット・エクスポージャーは引き続き2億5,000万ポンドを下回りました(2010年6月30日現在:2億5,000万ポンド未満)。

下表に含まれる資産残高は、各国におけるソブリンを含むリテール及びコーポレートの顧客に対する当グループのエクスポージャーを表しています。

資産はトレーディング・ポートフォリオとデリバティブ負債の総額で表示されており、リスク軽減前ですが、減損引当金並びにデリバティブ取引における顧客ごとのネットティング及び保有担保控除後です。

### リテール・ポートフォリオ

	2010年9月30日現在		2010年6月30日現在	
	貸付金 (償却原価により評価)	偶発債務及び コミットメント	貸付金 (償却原価により評価)	偶発債務及び コミットメント
	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド	百万ポンド
スペイン	19,073	1,105	18,124	1,805
イタリア	15,393	1,036	14,239	945
ポルトガル	5,417	1,015	4,978	1,162
アイルランド	141	4	142	19

リテール顧客に対するエクスポージャーは、主にスペイン、イタリア、ポルトガルにおける国内貸出で、主として住宅ローンに関連するものでした。スペインとイタリアにおける住宅ローンの信用力は担保掛目(LTV)の低い貸出を反映しており、2010年9月30日現在の平均的な時価評価によるLTVは、スペインが56%(2010年6月30日現在:56%)、イタリアが44%(2010年6月30日現在:44%)でした。第3四半期に、スペインとイタリアの信用リスクの高いローンの残高は、それぞれ6%増の7億1,900万ポンド(2010年6月30日現在:6億8,100万ポンド)、及び13%増の5億4,200万ポンド(2010年6月30日現在:4億7,900万ポンド)となりました。

### ホールセール・ポートフォリオ

2010年 9月30日現在	貸付金(償却原価により評価)		公正価格で保有する資産		偶発債務及び コミットメント 百万ポンド
	合計 百万ポンド	うち政府向け 百万ポンド	合計 百万ポンド	うち政府向け 百万ポンド	
スペイン	7,038	143	8,877	7,061	3,098
イタリア	3,274	-	10,744	8,874	2,489
ポルトガル	2,587	12	2,480	1,337	1,639
アイルランド	3,102	-	3,825	503	1,706
2010年 6月30日現在					
スペイン	7,167	133	8,731	6,403	3,182
イタリア	3,159	-	10,466	8,606	1,546
ポルトガル	2,405	19	2,408	1,177	1,543
アイルランド	3,324	-	3,160	328	1,482

ホールセール顧客へのエクスポージャーは、スペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランドにおけるパークレイズ・キャピタルとパークレイズ・コーポレートの業務(これには中小企業向け、コーポレート及び投資銀行業務関連の広範な業務が含まれます。)並びに西ヨーロッパ部門の財務運用によりこれらの国で保有されているソブリン及び社債に関連していました。貸付金には、不動産及び建設業に対するエクスポージャーのスペインにおける29億2,900万ポンド(2010年6月30日現在:30億2,900万ポンド)、ポルトガルにおける7億1,300万ポンド(2010年6月30日現在:6億5,100万ポンド)、アイルランドにおける2億3,600万ポンド(2010年6月30日現在:2億1,900万ポンド)、イタリアにおける8,600万ポンド(2010年6月30日現在:8,800万ポンド)が含まれます。

公正価値で保有される資産は、主にトレーディング・ポートフォリオ資産から成り、流動性が極めて高く、質の高い債務証券、及びデリバティブの売却可能なポジション、及びデリバティブです。

-ENDS-